

- 第1号△一九六三・二▽横浜市の未来像
- 第2号△一九六四・二▽横浜市の行政水準
- 第3号△一九六四・六▽子供を大切にす市政
- 第4号△一九六四・八▽だれでも住みたくなる都市づくり
- 第5号△一九六四・二▽海外から見て横浜を考える
- 第6号△一九六五・二▽地方行政の改革と近代化
- 第7号△一九六五・五▽宅地開発の現状と対策
- 第8号△一九六五・八▽戦後20年 市行政の再検討
- 第9号△一九六五・二▽「横浜の都市づくり」に提案する
- 第10号△一九六六・二▽区役所問題
- 第11号△一九六六・五▽横浜文化論 新しい文化の創造は可能か
- 第12号△一九六六・八▽首都圏と横浜
- 第13号△一九六七・二▽新しい横浜の記録
- 第14号△一九六七・六▽大都市圏の問題
- 第15号△一九六七・九▽行政の再点検と提案
- 第16号△一九六七・二▽統 行政の再点検と提案
- 第17号△一九六八・二▽公害対策 横浜方式
- 第18号△一九六八・八▽二〇〇万都市
- 第19号△一九六八・〇▽郊外部開発の諸問題
- 第20号△一九六八・三▽転換期の福祉行政
- 第21号△一九六九・三▽市民の安全
- 第22号△一九六九・八▽都市と緑
- 第23号△一九六九・二▽都市化と老人問題
- 第24号△一九七〇・一▽基地と市民運動
- 第25号△一九七〇・三▽京浜工業地帯
- 第26号△一九七〇・六▽余暇とその環境
- 第27号△一九七〇・二▽都市廃棄物
- 第28号△一九七一・三▽六大事業の経過と今後の方向
- 第29号△一九七一・三▽新市民と自治
- 第30号△一九七一・六▽水資源と水行政
- 第31号△一九七一・九▽住宅問題の諸側面
- 第32号△一九七一・三▽自動車化と道路・交通問題
- 第33号△一九七二・三▽都市環境と生物指標
- 第34号△一九七二・六▽都市化と財政
- 第35号△一九七二・九▽住民と「知る権利」
- 第36号△一九七二・三▽住民の要求と行政の対応
- △意識調査から▽
- 第37号△一九七三・三▽地方公務員と職業倫理
- 第38号△一九七三・六▽住工混合地域の環境整備
- 第39号△一九七三・九▽大都市における地域行政
- 区役所のあり方を中心に ——
- 第40号△一九七三・三▽大地震の対策と不安
- 第41号△一九七四・三▽都市と精神の問題
- 第42号△一九七四・六▽都市エネルギーの諸問題
- 第43号△一九七四・九▽出稼ぎ労働の問題点
- 第44号△一九七四・三▽消費者と物価
- 第45号△一九七五・三▽「福祉」問題再考
- 第46号△一九七五・六▽都市と家族の問題
- 第47号△一九七五・九▽アーバンデザインの課題
- 第48号△一九七五・三▽地方財政危機をめぐって
- 第49号△一九七六・三▽区民生活と行政の対応
- 緑区の調査事例を中心に ——
- 第50号△一九七六・六▽都市行政の主体性
- 第51号△一九七六・九▽都市のなかの川
- 第52号△一九七六・三▽都市と港湾
- 第53号△一九七七・三▽横浜の文化と行政
- 第54号△一九七七・六▽市民の医療と行政
- 第55号△一九七七・九▽都市における学校
- 第56号△一九七七・三▽低成長下横浜の行財政
- 第57号△一九七八・三▽地区計画と住民
- 第58号△一九七八・六▽都市における資料館
- 第59号△一九七八・九▽横浜の緑と保存
- 第60号△一九七八・三▽横浜の盛り場
- 第61号△一九七九・三▽地域施設の管理・運営
- 第62号△一九七九・六▽都市と子ども
- 第63号△一九七九・九▽横浜の地下
- 第64号△一九七九・三▽市民の食料と食生活
- 第65号△一九八〇・三▽横浜の国際性

- 第66号△一九八〇・六▽歩行者空間
- 第67号△一九八〇・九▽市民と健康
- 第68号△一九八〇・三▽老人問題と福祉行政
- 第69号△一九八一・三▽都市の自治
- 第70号△一九八一・六▽都市住宅問題をめぐって
- 第71号△一九八一・九▽共生の時代
- 第72号△一九八一・三▽婦人問題
- 第73号△一九八二・三▽アジアの都市と横浜
- 第74号△一九八二・六▽横浜と農業
- 第75号△一九八二・九▽横浜と工業
- 第76号△一九八二・三▽都市と水環境
- 第77号△一九八三・三▽職員の自主研究
- 第78号△一九八三・六▽市政情報の整備と利用
- 第79号△一九八三・三▽横浜市政と行政
- 第80号△一九八四・二▽高齢社会の課題
- 第81号△一九八四・三▽市民・地域・行政
- 第82号△一九八四・九▽緑保存の方策
- 第83号△一九八四・二▽横浜と商業
- 第84号△一九八五・二▽福祉と民間活力
- 第85号△一九八五・三▽区行政あり方と個性ある地域づくりの試み
- 第86号△一九八五・三▽都市とイベント
- 第87号△一九八五・三▽横浜の産業政策―企業誘致活動を中心に
- 第88号△一九八六・二▽市民と図書館
- 第89号△一九八六・三▽国際化時代の市民と行政
- 第90号△一九八六・九▽まちの活力と行政
- 第91号△一九八六・二▽家族機能と自治体行政
- 第92号△一九八七・一▽横浜の公共交通
- 第93号△一九八七・三▽地域情報・行政情報
 - ―横浜の広報力を考える
- 第94号△一九八七・六▽博物館を考える
- 第95号△一九八七・九▽子どもとまち
 - ―遊び・自然・まちづくり
- 第96号△一九八七・三▽都市とごみ
 - ―ごみとの共存をめざして
- 第97号△一九八八・三▽まちの特徴づくり
 - ―歴史、文化とのかかわり
 - のなかで
- 第98号△一九八八・六▽みなと
 - ―現状と新しい動き
- 第99号△一九八九・一▽横浜論
- 第100号△一九八九・三▽市民と生涯学習
- 第101号△一九八九・六▽'89・職員の自主研究
- 第102号△一九八九・九▽車社会を考える
- 第103号△一九八九・三▽都市生活とメンタルヘルス
- 第104号△一九八九・三▽都市生活とメンタルヘルス
- 第105号△一九九〇・三▽横浜―東京圏の中で考える
- 第106号△一九九〇・六▽情報化社会と市民
- 第107号△一九九〇・九▽エネルギー―地球環境の中で考えるPART I
- 第108号△一九九〇・三▽エネルギー―地球環境の中で考えるPART II

調査季報アンケート

今後の参考にしたいので、次のアンケートにお答え下さい。該当する項目に○印をするか、ご意見をお書き下さい。

1 今回の特集テーマについて

- (1) 興味があった
- (2) どちらともいえない
- (3) 興味がなかった

2 今回の執筆者について

- (1) 学者・専門家をもっと増やして欲しかった
- (2) 横浜市の職員をもっと増やして欲しかった
- (3) 他都市の職員をもっと増やして欲しかった
- (4) 市民をもっと増やして欲しかった
- (5) その他（具体的に _____

3 今回の内容について

- (1) 専門用語が多くて理解しにくかった
- (2) 読み易く解り易かった
- (3) やさしかった
- (4) その他（具体的に _____

4 調査季報の読み方について

- (1) 毎号必ず読んでいる
- (2) テーマによって読んでいる
- (3) 目次だけは目を通している
- (4) 殆ど読んでいない
- (5) 初めて読んだ
- (6) 後で参考になるものを読む
- (7) その他（具体的に _____

5 調査季報には、行政研究欄など自分で調査・研究している論文を発表する場合がありますが、ご存知ですか。

- (1) 知っている
- (2) 知らなかった

6 今後調査季報で取り上げて欲しいテーマがありましたらお書き下さい。

7 調査季報に対する希望・意見をお書き下さい。

◎ よろしかったらお書き下さい。

所属または住所

名 前

年 代 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

性 別 男性 女性

提出先 〒231 横浜市中区港町1-1
横浜市企画財政局都市科学研究室
☎ 045-671-2029

●第104号(一九八九年十二月)

特集・都市生活とメンタルヘルス

都市と生活ストレス — 石原邦雄
 都市生活とメンタルヘルス — 吉川武彦
 アルコール依存症 — 水澤都加佐
 働き盛りのメンタルヘルス — 岩井浩一
 インタビュー・思春期のメンタルヘルス — 渡辺久子
 横浜いのちの電話相談 — 長谷川浩一 内田恵美子
 座談会・地域における精神保健活動の実際と課題

—— 小坂 功 菊池 正 児玉三千江
 佐伯 彰 吉塚晴夫 小林光政 助川征雄
 横浜市の精神保健対策の現状と課題 — 田中克子
 新書紹介／失われたものを追い求めずに — 伊藤 孝

●第105号(一九九〇年三月)

特集・横浜 — 東京圏の中で考える

東京大都市圏の一極集中と横浜 — 上野嘉夫
 横浜臨海部の将来像 — 吉田拓生
 世界最強のD&Eエリア — 石川久雄
 東京圏の都市と住宅 — 森泉陽子
 市民活動の広域化と地域社会 — 藤竹 暁
 市民の暮らしとこれからの地方制度・大都市制度 — 吉田民雄
 行政研究／子どもの遊び場を考える — 横 重善
 新書紹介／東京に負けてなるものか — 緒賀道夫

●第106号(一九九〇年六月)

特集・情報化社会と市民

対談・社会、技術の変化と情報化社会

—— 安田寿明 寄藤 昂
 情報化社会と人間 — 小林宏一
 情報化社会と企業

①コンピュータ技術と情報化社会 — 小高俊彦
 ②データベース・サービスの現状と将来 — 寺村謙一
 電子情報ネットワークと市民 — 額田順二
 情報化社会と教育 — 加納和明
 横浜市の情報化施策 — 神谷洋二
 対談・情報化社会・横浜の展望 — 安田寿明 寄藤 昂
 行政研究／ヨコハマ・文化の風景(ホールの現状)
 —— 仲原正治
 新書紹介／情報世紀への選択 — 芳賀宏江

●第107号(一九九〇年九月)

特集・エネルギー — 地球環境の中で考えるPART I

エネルギー — 伊藤哲夫
 地球規模のエネルギー新潮流への挑戦 — 米村 猛
 変わる企業行動 — 岡崎昌史
 新エネルギーの導入を目指して — 山梨晃一
 エコロジカル・ライフスタイルを求めて
 ①「地球を救う127の方法・日本版」を作ってみて — 土屋真美子
 ②「エコロジカルな生協運動」への挑戦 — 庭野陽子
 研究レポート／横浜学と横浜学シンポジウム — 吉田勉矩
 新書紹介／地球にやさしい生活術 — 白井誠治

調査季報

1990 10 12月 8

●
横浜市のデータ

人口

3,224,409 < 2・12・1 >

世帯数

1,171,982 < 2・12・1 >

平成2年(1990年)12月28日

編集・発行

横浜市企画財政局都市科学研究室

〒231 横浜市中区港町1-1

045・671-2029

横浜市広報印刷物登録

第020077号

類別・分類

A-B A110

印刷

東邦印刷株式会社

横浜市南区高根町3-18